

H30-04720-00911
平成30年5月30日

公益社団法人 長崎県理学療法士協会会長 様

長崎県長寿社会課長
(公印省略)

平成30年度主任介護支援専門員更新研修の開催について（ご案内）

日頃から、高齢者保健福祉行政の推進にご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

今般、主任介護支援専門員更新研修につきまして、受講対象者の要件の見直しを行い、別添実施要領により開催することとしました。

つきましては、関係者及び関係団体への周知についてご配慮いただきますようお願いいたします。

なお、ケアプラン作成者が配置されている県内の介護サービス事業所等に対しましても、研修実施機関を通じて同様の案内文書を送付しております。併せて、近日中に、長崎県長寿社会課ホームページにも掲載することとしております。

記

(主な改正点)

- ・対象者要件①の「介護支援専門員に係る研修」に地域包括支援センター主催の研修を追加
- ・対象者要件②の「年4回以上」の定義を、「1つ目の研修を受講してから1年間の間に4回以上」に変更
- ・対象者要件②の「4回以上の研修の合計時間」を、「18時間以上」から「16時間以上」に変更
- ・対象者要件①～③の対象となる期間を、「2年以内」から「3年以内」に変更

【問い合わせ】

〒850-8570 長崎市尾上町3-1

長崎県福祉保健部 長寿社会課 介護人材確保推進班

TEL (095) 895-2440、(095) 895-2431 FAX (095) 895-2576

平成30年度長崎県主任介護支援専門員更新研修実施要領

1 目 的

主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たして行くために必要な能力の保持・向上を図ることを目的とする。

2 実 施 主 体 長崎県から指定を受けた長崎県介護支援専門員連絡協議会が実施する。

3 対 象 者

次の①から⑤までのいずれかに該当するものであって、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期間がおおむね2年以内に満了する者とする。

- ① 介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーター、実務研修の実習指導者の経験がある者
- ② 行政・地域包括支援センター・介護支援専門員協議会・日本ケアマネジメント学会・長崎県社会福祉協議会・各職能団体（医師会、看護協会、介護福祉士会、社会福祉士会など）等が開催する法定外の研修に年4回以上参加した者
- ③ 日本ケアマネジメント学会、日本介護支援専門員協会、長崎県介護支援専門員連絡協議会が開催する研究大会等において、演題発表等の経験がある者
- ④ 日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー
- ⑤ 主任介護支援専門員の業務に十分な知識と経験を有する者であり、都道府県が適当と認める者

※①について

- ・「介護支援専門員に係る研修」とは、法定研修や、行政・日本（都道府県）介護支援専門員協会・地域包括支援センター主催の研修を指します。

※②について

- ・「年4回以上」とは、「1つ目の研修を受講した日から1年の間に4回以上」及び「4回以上の研修の合計時間が16時間以上」であることを指します。
- ・数日ある研修は、1日を1回と換算します。
- ・「法定外の研修」とは、「介護支援専門員の資質の向上に関する研修や研究大会（勉強会は含まない。※講師を立てていなければ勉強会として対象外）」であることを指します。

※①～③の対象となる期間は、3年以内（研修受講年度の研修開始前日までの間）とします。

4 注 意 事 項

- ・介護支援専門員証の有効期限内に、主任更新研修を受講・修了する必要があります。主任更新研修修了前に介護支援専門員証の有効期限が切れる方は、従来どおり「介護支援専門員更新研修」を受講のうえ、更新手続きをする必要があります。介護支援専門員証の有効期間が過ぎた場合は、介護支援専門員として業務に就くことはできません。
- ・介護支援専門員証の有効期限が切れている方は、再研修を受講し、専門員証の交付を受けてから主任介護支援専門員更新研修を受講してください。

5 介 護 支 援 専 門 員 証 の 交 付 に つ い て

当該研修の修了者は、更新研修を受けた者とみなされ、「介護支援専門員更新研修」の受講・修了が免除されます。

6 研修内容 別紙カリキュラム参照

7 研修日程、会場

8日間 全46時間

日程								会場
10/10 (水)	10/11 (木)	10/12 (金)	10/13 (土)	11/16 (金)	11/17 (土)	11/18 (日)	11/19 (月)	長崎県勤労福祉会館 (長崎市桜町 9-6)

※駐車場はございませんのでご注意ください。

当日は混雑が予想されますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

8 定 員 80名

9 申し込み 当会の「受講管理システム」(リンク先は日本介護支援専門員協会)から必要事項を登録のうえ申し込み願います。また、併せて、別添申込書に必要事項を記入の上、郵送にて申し込み願います。(FAX不可)

お申込み受付確認後、「研修仮申込受付」を当会よりメールにて送信します。

※「申込流れ(簡易版)」参照

10 申込期限 平成30年7月6日(金) 必着

11 受講料 35,000円(テキスト代込)

なお、受講開始後の払い戻しはできませんので、御注意下さい。

※研修で使用する教材は、研修当日配布します。

12 受講決定 「受講管理システム」登録順に受付をいたしますが、定員を超えた場合は、主任介護支援専門員の有効期限満了が早い方を優先させていただきますので、御了承ください。その際には、別途御連絡いたします。

8月下旬頃までに、受講の可否をお知らせする予定です。

13 課題提出等 「提出課題について」参照

14 その他 研修において遅刻、早退、欠席がある場合は、修了証明書を発行できず証を更新する事が出来ませんのでご注意ください。

15 問い合わせ 特定非営利活動法人 長崎県介護支援専門員連絡協議会

研修専用 095-894-5500 (月曜日～金曜日 午前9時～午後5時)

T E L 095-893-6152 (月曜日～金曜日 午前9時～午後5時)

F A X 095-893-6153

提出課題について

担当している事例または過去に担当された事例の持参をお願い致します。（ご自分で担当された事例をご持参ください。指導事例ではありませんのでご注意ください。）研修中での各科目でそれぞれ使用します。

（演習の際、持参事例について発表する時間があります。①～⑦全ての事例が必要です。）

※持参いただきます事例につきまして、該当するものが無い方は事務局で準備いたしますので、受講決定後、件名「介護支援専門員研修 主任更新 事例について」とし、空メールを事務局（nagasaki-caremanager@wish.ocn.ne.jp）までお送りいただきますようお願いいたします。

- ①リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例
- ②看取り等における看護サービスの活用に関する事例
- ③認知症に関する事例
- ④入退院時等における医療との連携に関する事例
- ⑤家族への支援の視点が必要な事例
- ⑥社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
- ⑦状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

事例については①～⑦までそれぞれ7つの事例をそろえなくても、以下の例のように重複しても問題ありません。事例を7つ準備するというのではなく、7つの科目に適応する事例を準備すると考えてください。

例1：③の認知症と⑤の家族支援が重複する事例

例2：①のリハビリテーションと②看護サービスを活用した④の退院時の事例

※例1の場合は1つの事例で2科目、例2の場合は1つの事例で3科目分の事例を準備しているとみなしませ

事例ごとに準備するもの

- 1) 事前準備書類① **指定様式**
- 2) 課題分析標準項目シート **指定様式**
- 3) 当該事例の居宅サービス計画書（1～3表）・施設サービス計画書（1～3表）・介護予防計画書

個人情報削除の上、事例ごとに6部ずつ用意してください。

会場でのコピーは原則として対応できませんので、ご注意ください。

※サービス計画書の持参が困難な方は、事務局（nagasaki-caremanager@wish.ocn.ne.jp）まで、件名「介護支援専門員研修 主任更新 計画書について」とし、空メールをお送りいただきますようお願いいたします。

指定様式データにつきましては、8月中旬頃ホームページへ掲載いたします。

主任介護支援専門員更新研修事前準備書類①

この「主任介護支援専門員更新研修事前準備書類①」は、7つの類型毎に事例の居宅サービス計画書・施設サービス計画書・介護予防計画書が準備できる方が、演習の準備として整理いただき、当該課目受講の際に持参していただく書類です。

作成上の注意

演習時に提示していただく居宅サービス計画書・施設サービス計画書・介護予防計画書は、利用者の個人情報保護の観点から、利用者の氏名や住所・電話番号の記載はしないようにしてください。

事例が該当する類型にをつけて下さい。(重複可)

リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例

看取り等における看護サービスの活用に関する事例

認知症に関する事例

入退院時等における医療との連携に関する事例

家族への支援の視点が必要な事例

社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例

状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例

氏名 _____

事例選択の理由

事例の支援において困難と感じた事又は感じている事

添付書類：①当該事例に対する課題分析標準項目シート

②当該事例の居宅サービス計画書（1～3表）・施設サービス計画書（1～3表）

・介護予防計画書

※事例が該当する課目の受講当日は記載済みの本紙と上記の添付書類①と②のコピーを各6部ずつ持参して受講してください。

長崎県介護支援専門員連絡協議会（転用禁止）

主任介護支援専門員更新研修 課題分析標準項目シート

基本情報に関する項目

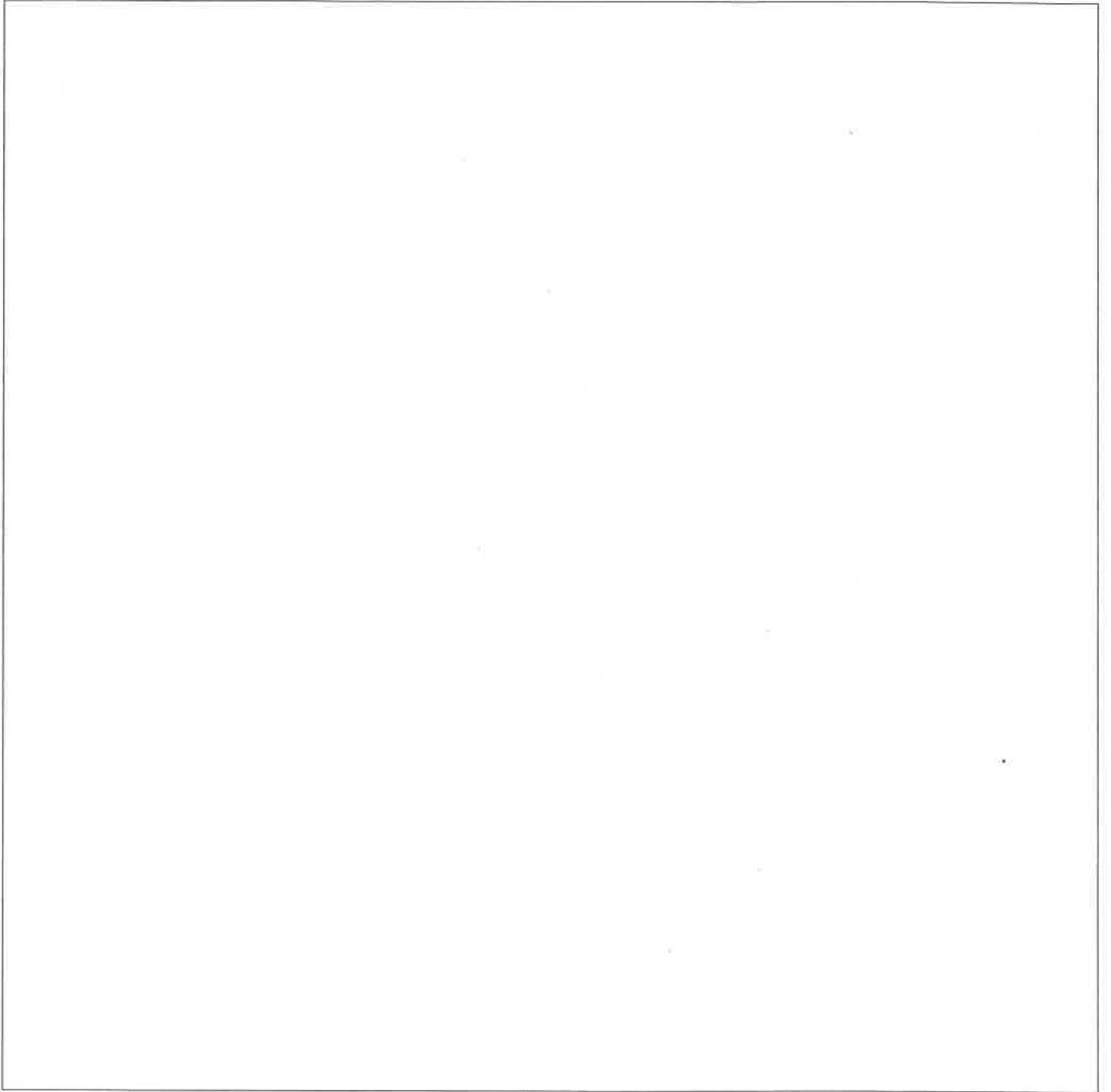
受付年月	平成 年 月
受付担当者	
受付経路	
性別・年齢	※氏名は記入しないこと
家族状況	
生活歴	
生活状況	
保険・他法情報	
現在利用しているサービス	
障害老人の日常生活自立度	
痴呆性老人の日常生活自立度	
主訴	
認定情報	(平成 年 月 日～平成 年 月 日)
課題分析理由	

アセスメントに関する項目

健康状態	
本人のADL	<ul style="list-style-type: none">・寝返り：・起き上がり：・移乗：・立位：・座位：・歩行：・更衣：・入浴：・洗身：・食事：・洗面：
本人のIADL	<ul style="list-style-type: none">・調理：・掃除：・買い物：・金銭管理：・服薬状況：
認知	
コミュニケーション	
社会との関わり	
排尿・排便	
じょくそう・ 皮膚の問題	
口腔衛生	
食事摂取	
問題行動	

介護力	
居住環境	
特別な状況	
家屋図	

ジェノグラム



平成30年度 主任介護支援専門員更新研修

科 目	目 的	内 容	時間数
○介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向	<p>介護保険制度の最新の動向を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築に向けた現状の取組と課題を理解し、主任介護支援専門員として果たすべき役割を再認識する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の最新の動向や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組や課題、地域包括ケアシステムの構築における介護支援専門員及び主任介護支援専門員の役割について講義を行う。 利用者やその家族を支援する上で関連する最新の制度、動向及び社会資源の活用並びに関係機関等との連携やネットワーク構築に関する講義を行う。 介護保険制度並びに介護支援専門員を取り巻く状況など現状で課題となっている事項を踏まえた、介護支援専門員に対する指導、支援に関する講義を行う。 	講義4時間
○主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	<p>リハビリテーションや福祉用具等の活用事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、リハビリテーションや福祉用具等の活用に係る実践上の課題や不足している視点を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることが出来る知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自が担当しているリハビリテーションや福祉用具等の活用に関する主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技術を修得する。 リハビリテーションや福祉用具等の活用をするに当たって重要となる医師やリハビリテーション専門職等との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 リハビリテーションや福祉用具等の活用を検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	講義及び演習6時間

科 目	目 的	内 容	時間数
<p>・看取り等における看護サービスの活用に関する事例</p>	<p>看護サービスの活用が必要な事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、看護サービスの活用に係る実践上の課題や不足している視点を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることができ知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が担当している看護サービスの活用に関する主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技能を修得する。 ・看取り等を含む看護サービスを活用するに当たって重要となる医師や看護師等との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 ・看取り等を含む看護サービスの活用を検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	<p>講義及び 演習6時間</p>
<p>・認知症に関する事例</p>	<p>認知症に関する事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、認知症の要介護者等に関する実践上の課題や不足している視点を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることができ知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が担当している認知症ケースに関する主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技能を修得する。 ・認知症の要介護者等及び家族を支援するに当たり重要となる医療職をはじめとする多職種や地域住民との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 ・認知症である要介護者等の支援方法を検討するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	<p>講義及び 演習6時間</p>

科 目	目 的	内 容	時間数
<p>・入退院時等における医療との連携に関する事例</p>	<p>入退院時等における医療との連携に関する事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、医療との連携に関する実践上の課題や不足している視点を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることが出来る知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が担当している入退院時等における医療との連携に関する主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技能を修得する。 ・入退院時等において重要となる医療職をはじめとする多職種との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 ・入退院時における支援を検討するに当たり、効果的なものになるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	<p>講義及び演習6時間</p>
<p>・家族への支援の視点が必要な事例</p>	<p>家族への支援の視点が特に必要な事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、家族への支援の視点も踏まえた実践上の課題や不足している視点等を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることが出来る知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が担当している家族支援が特に必要なケースに関する主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技能を修得する。 ・家族に対する支援に当たり重要となる関係機関や地域住民をはじめとする多職種との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 ・家族支援が必要なケースを検討するに当たり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	<p>講義及び演習6時間</p>

科 目	目 的	内 容	時間数
<ul style="list-style-type: none"> 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 	<p>社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、利用者が活用することができる制度に関する知識及び関係機関等との連携に係る実践上の課題や不足している視点等を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることができる知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自が担当している他の制度（生活保護制度、成年後見制度等）を活用している主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技能を修得する。 他の制度を活用するに当たり重要となる関係機関や多職種との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 他の制度を活用するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	講義及び演習6時間
<ul style="list-style-type: none"> 状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例 	<p>状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例を用いて主任介護支援専門員としての実践の振り返りを行うことにより、多様なサービスの活用に係る実践上の課題や不足している視点を認識し分析する手法を深める。</p> <p>また、分析結果を踏まえた資質向上に必要な取組と実践における改善策を講じることができる知識・技術を修得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各自が担当している地域密着型サービス等の多様なサービスを活用している主任介護支援専門員としての実践事例について振り返り、意見交換等を通じて、課題や不足している視点を認識し分析する。分析に必要な根拠を明確にすることにより改善策を講じ、資質向上に向けた介護支援専門員に対する指導及び支援を実践することができる知識・技能を修得する。 状態に応じて多様なサービスを活用するに当たり重要となる関係機関や介護サービス事業者との連携方法等ネットワークづくりの実践について、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 状態に応じて多様なサービスを活用するに当たり、効果的なものとなるようインフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善指導に関する講義を行う。 	講義及び演習6時間

(様式1)

平成30年度主任介護支援専門員更新研修受講申込書

平成30年 月 日現在

氏名		性別	男・女	生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)
自宅住所	〒()				
電話番号	自宅() 携帯()				
介護支援専門員 登録番号					
勤務先	名称				
	所在地	〒()			
		TEL		FAX	
種別	居宅系 ・ 施設系 ・ 地域包括支援センター				
現在の介護支援 専門員証	交付年月日	年 月 日	主任介護支援専門 員研修修了日	年 月 日	
有効期間満了日	年 月 日				
受講要件 (該当するもの に○)をすること)	①介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーター、実務研修の実習指導者の経験がある者 ②行政・地域包括支援センター・介護支援専門員協議会・日本ケアマネジメント学会・長崎県社会福祉協議会・各職能団体（医師会、看護協会、介護福祉士会、社会福祉士会など）等が開催する法定外の研修に年4回以上参加した者 ③日本ケアマネジメント学会、日本介護支援専門員協会、長崎県介護支援専門員連絡協議会が開催する研究大会等において、演題発表等の経験がある者 ④日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー ⑤主任介護支援専門員の業務に十分な知識と経験を有する者であり、都道府県が適当と認める者				

【※要件①】「介護支援専門員に係る研修」とは、法定研修や、行政・日本（都道府県）介護支援専門員協会・地域包括支援センター主催の研修を指します。

【※要件②】・「年4回以上」とは、「1つ目の研修を受講した日から1年の間に4回以上」及び「4回以上の研修の合計時間が16時間以上」であることを指します。

・数日ある研修は、1日を1回と換算します。

・「法定外の研修」とは、「介護支援専門員の資質の向上に関する研修や研究大会（勉強会は含まない。※講師を立てていなければ勉強会として対象外）」を指します。

【※要件①～③】対象となる期間は、3年以内（研修受講年度の研修開始前日までの間）とします。

受講要件申告書

(登録番号:)
(氏名:)

該当する要件に☑し記入してください。

<input type="checkbox"/> ①介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーター、実務研修の実習指導者の経験がある者			
年月日	主催者名	研修会名/科目名	担当/証明書類※1
			(企画・講師・ファシリテーター・実習指導者) (有・無・見込み)
<input type="checkbox"/> ②地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等に年4回以上参加した者			
年月日	主催者名	研修会名/研修時間	修了証※2
		～ (時間)	有・無・見込み
		～ (時間)	有・無・見込み
		～ (時間)	有・無・見込み
		～ (時間)	有・無・見込み
<input type="checkbox"/> ③日本ケアマネジメント学会、日本介護支援専門員協会、長崎県介護支援専門員連絡協議会が開催する研究大会等において、演題発表等の経験がある者			
年月日	主催者名	研修会名	証明書類※3
			有・無・見込み
<input type="checkbox"/> ④日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー			
		登録年月日	証明書類※4
認定ケアマネジャー		年 月 日	有

※1 企画、講師、ファシリテーター、実習指導者のいずれかに○印をつけ、依頼書等証明できるものを添付してください。証明できる書類がない場合は、主催者から講師等実績証明(別紙様式4)を取得し添付してください。但し、長崎県介護支援専門員連絡協議会主催研修の場合は不要です。

※2 修了証の写しを添付してください。修了証がない場合は、主催者から受講証明(別紙様式6)を取得し添付してください。但し、長崎県介護支援専門員連絡協議会主催研修の場合は不要です。

※3 研究大会等の参加証明書類は、抄録等氏名記載があるものを添付してください。

※4 認定ケアマネジャーであると証明できる書類(認定証等)の写しを添付してください。

※①～③について、研修開始前日までに経験・修了を予定しているものは「見込み」に○印をつけ、経験・修了後速やかに証明書等を提出してください。但し、長崎県介護支援専門員連絡協議会主催研修の場合は不要です。

※虚偽の申告が判明した場合は、研修の受講を認めない、又は、研修の修了を取り消すことがあります。

(様式3)

平成 年 月 日

(研修主催団体等の長) 様

住 所 :
氏 名 : ㊦
生年月日 : 年 月 日
連 絡 先 :

研修等実績証明依頼

このことについて、次の研修の企画、講師やファシリテーター、実習指導者を行った実績を証明していただきますようお願いします。

1 研修名

2 研修年月日 平成 年 月 日

3 種別 企画・講師・ファシリテーター・実習指導者

4 証明依頼理由

(様式4)

研修等実績証明書

氏 名

生 年 月 日

研 修 の 名 称

種 別 企画・講師・ファシリテーター・実習指導者

上記の者の本研修の実績を証明します。

平成 年 月 日

研修主催団体等名
代表者名

印

(様式5)

平成 年 月 日

(研修主催団体等の長) 様

住 所 :
氏 名 : ④
生年月日 : 年 月 日
連 絡 先 :

研 修 修 了 証 明 依 頼

このことについて、次の研修を修了したことを証明していただきますようお願いいたします。

1 研修名

2 研修修了年月日 平成 年 月 日

3 証明依頼理由

(様式6)

修了証明書

氏 名

生 年 月 日

研 修 の 名 称

研 修 時 間 ～ (時間)

修 了 年 月 日 平成 年 月 日

上記の者は、本研修を修了したことを証明します。

平成 年 月 日

研修主催団体等名
代表者名

印

事 務 連 絡
平成30年5月30日

関 係 各 位

長 崎 県 長 寿 介 護 課
介 護 人 材 確 保 推 進 班

主任介護支援専門員更新研修の今後の見直しについて（お知らせ）

このことについて、標記研修で持参いただいている事例について、平成31年度から下記のとおり見直しを予定しておりますのでお知らせします。

記

- 1 変更内容
（変更前）各自で担当された事例
（変更後）各自が他の介護支援専門員に対し指導した事例
- 2 変更理由
事例検討ではなく、自らの実践の振り返りをグループで共有し、主任介護支援専門員としての課題を見出し検討していくため
- 3 変更時期
平成31年度から適用予定

【お問い合わせ】

〒850-8570 長崎市尾上町3番1号
長崎県福祉保健部長寿介護課 介護人材確保推進班
TEL (095) 895-2440、(095) 895-2431 FAX (095) 895-2576

